

報道関係者各位

2025 年 11 月吉日

気候変動による災害激甚化を見据えた「地域連携型消防訓練」を実施

～高齢者の命を守る、多機関連携の实地訓練～

近年、台風・集中豪雨・地震などの自然災害が激甚化・頻発化しており、特に要介護高齢者を対象とした福祉施設では、迅速かつ的確な初動対応がこれまで以上に求められています。

このような状況を踏まえ、介護付き有料老人ホーム 京都〈ゆうゆうの里〉では、下記の通り、近隣施設・地域をはじめ宇治市と連携した实地消防訓練を実施いたします。

本訓練は、施設入居者の安全確保を第一に、地域全体で命を守る防災力の強化を目指すものであり、各機関・関係者が連携し、通報・避難誘導・消火・情報共有体制の確認と改善を図ります。

そして、地域一体となった訓練を行う事により、地域連携を一層深めていきたいと考えております。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひ本訓練の取材・報道を賜りますようお願い申し上げます。

■ 訓練概要

開催日時： 2025 年 11 月 28 日 10:00～11:50

開催場所： 京都〈ゆうゆうの里〉 宇治市白川鍋倉山 14-1

参加団体： 宇治市危機管理室・宇治市消防本部 中消防署（中消防署長）・白川地区（区長・副区長）・社会福祉法人 宇治明星園・京都〈ゆうゆうの里〉

訓練内容： **1. 総合防災訓練（安否確認、点検、避難、炊き出し）**

- ① 地震を想定した安否確認訓練 ②設備・建物の点検訓練 ③火災発生を想定した避難訓練（7 号棟 6～7 階入居者・職員） ④災害時を想定した炊き出し訓練
- ⑤白川明星園、白川地区区長・副区長による訓練の現地見学

2. 消防署指導による専門訓練

- ①救助訓練（高層階を想定した避難・救助方法の指導） ②消火訓練指導（初期消火の技術・手順の習得） ③訓練後の講評（中消防署隊員による訓練全体に対する評価と改善点の指導）

3. 情報連絡・報告訓練

- ①地震発生後の白川地区の要援護者（住民）の状況確認と宇治市危機管理室へ報告するまでの手順確認、实地訓練 ②災害時の情報共有・連携体制の確立

今後も地域連携を深め、地域全体を活性化すべく取り組んでまいります。

■組織概要

財団名：一般財団法人 日本老人福祉財団

理事長：夏目 芳宏

設 立：1973（昭和 48）年 12 月 1 日

事 業：介護付有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国 7 箇所で運営
（佐倉、湯河原、伊豆高原、浜松、京都、大阪、神戸）

特 徴：創立 52 年目を迎えた歴史ある有料老人ホーム運営事業者
自立の時期に入居し最期まで暮らせる住まい（終の棲家）を提供

1 施設あたり平均 300 戸を超える大型施設の CCRC「高齢者コミュニティ」を展開している

■京都〈ゆうゆうの里〉概要

施設長：増田 保

開設日：1997 年（平成 9）年 10 月 1 日

敷地面積：114,049.09 m²

総戸数：412 戸

入居者数：494 人

※2025 年 10 月 1 日現在

特 徴：〈ゆうゆうの里〉最大の戸数を有し、京都府下でも最大級の施設となります。豊かな自然の中、25mプールやアスレチックジムをはじめ様々な共用施設があり、全入居者数の 7 割強の方が自立した生活を送っています。

本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人 日本老人福祉財団 京都〈ゆうゆうの里〉事務管理課 石寄・安田

U R L：<https://yuyu-kyoto.com/>

電話 0774-28-1001